



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和8年3月10日

印西市議会議長 様

会 派 名	印西ダイバーシティ
代 表 者 氏 名	加藤 亮二
経 理 責 任 者 氏 名	加藤 亮二

令和7年4月14日付け印西議指令第35号で交付決定のあった政務活動費について、  
印西市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により下記書類を添えて報告し  
ます。

記

添付書類

- 1 政務活動費収支内訳書
- 2 政務活動費実施報告書

別添

政 務 活 動 費 収 支 内 訳 書

会 派 名 印西ダイバーシティ

代 表 者 氏 名 加藤 亮二

経 理 責 任 者 氏 名 加藤 亮二

1 収支実績

収 入 A	支 出 B	差 引 A-B
360,000円	360,000円	0円

2 収支内訳

(1)収入

項 目	内 容	金 額 (円)
政務活動費	30,000x12ヶ月x1人	360,000
合 計		360,000

(2)支出

項 目	内 容	金 額 (円)
広報費	活動報告会場使用料	3,680
広報費	会派紙 印刷・新聞折込代	356,320
合 計		360,000

備考

- 1 使途基準の使途項目ごとに分類すること。
- 2 領収書等を添付すること。





## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細等添付欄  
会場使用料（令和7年7月13日）領収書 別紙のとおり

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

そうふけ公民館 施設使用確認書  
(兼領収書)

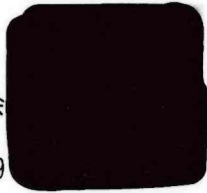
①

発行日：2025年07月13日  
請求番号：2025-3-002555


市政報告会（会派 印西ダイバーシティ）様

印西市教育委員会

登録番号 T1000020122319



施設使用の内訳は次のとおりです。

使用日	開始時間	終了時間	内 訳	使用料	
2025年8月3日(日)	13:00	17:00	研修室 1	¥1,280	
備 考				小 計	¥1,280
				10%対象額	¥1,280
注意事項	1 法令または条例等に違反した時や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を破損・汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたら許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。			10%対象税額	¥116
				合 計	¥1,280
				入金額	¥1,280
				上記のとおり領収しました。	
				領 収 日※	
				2025年07月13日	
					
			※指定納付受託者による支払のときは支払確認日		

※指定管理者が管理する施設にあっては「使用」を「利用」と「使用料」を「利用料金」と読み替える。

## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細等添付欄  
会場使用料（令和8年1月16日）領収書 別紙のとおり

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。



## 支出証明書

1 支払金額 2,400 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和8年3月23日

会派名 印西ダイバーシティ  
代表者名 加藤 亮二

区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	会場使用料（中央駅前地域交流館 2,400円）			
理 由	施設側において、会派名での領収証再発行ができない為。			
債 権 者 住所・氏名	千葉県千葉市花見川区幕張本郷七丁目8番10号			
	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			



# 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

②

領収書



印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 御中

取引年月日: 2025年07月16日(水)

下記正に領収いたしました。

領収書番号: R-250714206587

**合計金額 (税込) 78,491円**

ラクスル株式会社

10%対象 78,491円 (内消費税: 7,135円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号: T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
250714206587-01	チラシ・フライヤー / B4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準: 90kg	18,000部	71,356円	出荷予定日: 2025年7月18日 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 活動レポート Vol.4

【\*】は軽減税率対象であることを示します。

注文内容 商品合計: 71,356円

小計 (税抜) 71,356円

合計金額 (税込) 78,491円

お支払い方法: クレジットカード

③

領収証

印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様

No. 10004

★ ¥ 12,210. -

但 7/22 折込 43000 枚

令和 7 年 7 月 18 日 上記正に領収いたしました

内 訳

収 入 印 紙	税抜金額 11100
	消費税額等(10%) 1110

コクヨ ウケ-55

読売センター印西

〒270-2322 印西市笠神423

TEL 0476-97-4150

T 1040002057488

領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

④ 領収証 印西市議会 会派 印西 野田 様 No. \_\_\_\_\_

★ ¥3,631-

内訳  
現金  
小切手 /  
手形 /

但 7月24日 900円  
7年7月18日 上記正に領収いたしました

収入印紙

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

ASA 印旛  
〒270-1604 印西市山田3621  
TEL 0476-98-0355 F 98-1591

⑤ 領収証 印西市議会 会派 印西 野田 様 No. 12

★ ¥15,262-

但 FIT 送料 ¥2,840 3,750円 1/2入

2025年7月12日 上記正に領収いたしました 登録番号 登録番号 T1040002065004

内訳	税率	金額(税抜・税込)	13,875
		消費税額等	1,387
	税率	金額(税抜・税込)	
		消費税額等	

収入印紙

コクヨ ウケ-1097

有限会社 高橋新聞販売

代表取締役

〒270-1337 千葉県印西市草深  
TEL 0476(47)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	/

⑥ 領 収 証 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様 No. \_\_\_\_\_

★ 7,122.-

但 7/22 入 BX 1,750 枚

R7 年 7 月 18 日 上記正に領収いたしました 登録番号 T3-0400-0205-8427

収 入  
印 紙

内 訳	税率	金額(税抜・税込)	6,475
	10%	消費税額等	647
	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

千葉県印西市木刈4-2-13  
千葉NT西部サービスセンター  
**(有)佐藤新聞店**  
TEL 0476(47)1301

コクヨ ウケ-1097

⑦ 領 収 証 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様 No. \_\_\_\_\_

金 額

¥7,326.-

内 訳 \_\_\_\_\_ 但 現金 代 2000

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_ /

手形 \_\_\_\_\_ /

消費税額等(%) \_\_\_\_\_

2015 年 7 月 18 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

産 経 印 西 千 葉 N T

代 表

千葉県印西市木下1521-6  
TEL 0476-42-5320 FAX 0476-42-5324

コクヨ ウケ-92

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

⑧

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

広告依頼者 印西市議会 会派印西民主党 様

折込日 2025年 7月 22日 (火) 合計金額 ¥ 12901

広告主/タイトル	納品日	サイズ	希望配布エリア	
新聞銘柄	枚数	単価	金額	消費税
朝日	2770	37	1024	1024
	450	37	1480	148

〒270-1359 千葉県印西市木刈4  
**有限会社 酒巻新聞**  
 代表取ASA  
 TEL 0476-46-3630 FAX 0476-4  
 登録番号 T6040002060017

折込料金として上記金額を正に領収致しました。 2025年 7月 18日 (金)  
 ASA折込広告基準に則り、広告内容を審査した結果、折込広告をお断りする場合があります。

⑨

領 収 証

No. 310

広告依頼者 印西市議会 会派印西民主党 様

折込日 2025年 7月 22日 (火) 合計金額 ¥ 4010

広告主/タイトル	納品日	サイズ	希望配布エリア	
新聞銘柄	枚数	単価	金額	消費税
朝日	1000	37	3700	370

**ASA 安 食**  
 〒270-1516 千葉県印西市安食2527番  
 TEL 0476(95)7  
 FAX 0476(95)7  
 所長

折込料金として上記金額を正に領収致しました。 2025年 7月 18日 (金)  
 ASA折込広告基準に則り、広告内容を審査した結果、折込広告をお断りする場合があります。

T1040001108242

## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

(//)	領収書	
印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 御中		取引年月日: 2026年01月20日(火)
下記正に領収いたしました。		領収書番号: R-260119018556
<b>合計金額 (税込) 102,873円</b>		ラクスル株式会社 
10%対象 102,873円 (内消費税: 9,352円)		〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F
		登録番号: T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
260119018556-01	チラシ・フライヤー / B4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準: 90kg	20,000部	93,521円	出荷予定日: 2026年1月20日 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 活動レポート Vol.5

「\*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 93,521円
小計 (税抜)	93,521円
合計金額 (税込)	102,873円

お支払い方法: クレジットカード

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

## 領収書等貼付用紙

	区	分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	/

⑫

領収書



印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 御中

取引年月日：2026年01月20日(火)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-260119019322

**合計金額 (税込) 30,083円**

ラクスル株式会社

10%対象 30,083円 (内消費税: 2,734円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
260119019322-01	チラン・フライヤー / B4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準 : 90kg	5,000部	27,349円	出荷予定日: 2026年1月22日 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 活動レポート Vol.5_2

【\*】は軽減税率対象であることを示します。

注文内容 商品合計: 27,349円

小計 (税抜) 27,349円

合計金額 (税込) 30,083円

お支払い方法: クレジットカード

領 収 証

印西市議会 会派  
印西ダイバーシティ

様

No. 20008

⑬

★ ¥ 11,599 -

但 1/24 折込 B4 2850枚

令和8年 1月 22日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	10545
消費税額等(10%)	1054

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-55

読売センター印西

〒270-2322 印西市笠神423-3

TEL 0476-97-4150

T 1040002057488

## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

⑭

領 収 証

印西市議会 会派  
印西ライオンシティ

様 No. 38

★ ¥15,059-

但 印西ライオンシティ B4 3700枚 1/24入

2025年 1月 22日 上記正に領収いたしました 登録番号 登録番号T1040002065004

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

有限会社 高橋新聞販売

代表取締役

〒270-1337 千葉県印西市草深  
TEL 0476(47

⑮

領 収 証

印西中議会 会派 印西  
ライオンシティ

様 No. \_\_\_\_\_

★ 7,122-

但 1/24入 B4 1750枚

8年 1月 22日 上記正に領収いたしました 登録番号 登録番号 T3-0400-0205-8427

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	10%	消費税額等 647
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

千葉県印西市木刈4-2-13  
千葉NT西部サービスセンター

(有)佐藤新聞店

TEL 0476(47)1301

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

16

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

広告依頼者 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様

折込日 2026 年 1 月 24 日 (土) 合計金額 ¥ 20,228-

広告主/タイトル	納品日	サイズ	希望配布エリア	
新聞銘柄	枚数	単価	金額	消費税
朝日	4970	37	18,389	1,839

〒270-1359 千葉県印西市木刈4  
 有限会社 酒巻新聞  
 代表取締役  
 TEL 0476-46-3630 FAX 0476-46-  
 登録番号 T6040002060017

折込料金として上記金額を正に領収致しました。2026年1月22日(木)  
 ASA折込広告基準に則り、広告内容を審査した結果、折込広告をお断りする場合があります。

17

領収証 印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様 No. 180030181938

金額 ¥35,783-

但 2026年1月30日号 チラシ折込代として

2026年2月16日 上記正に領収いたしました

収入印紙

営業担当印

内 訳 お振込  
 現金  小切手  
 消費税等 ¥3,253-

株式会社 地域新聞社 船橋  
 〒273-0137  
 千葉県鎌ヶ谷市道野辺本町2-6  
 登録番号: T6040001020962  
 TEL. 047-441-3151 FAX.

## 領収書等貼付用紙

区		分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細等添付欄  
(株) 地域新聞社 請求明細書 別紙のとおり

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

〒 270 - 1315  
千葉県印西市小林浅間3-2-3

# 請求明細書

177

印西市議会 会派 印西ダイバーシティ 様

2026年01月31日 締切分 No. 190030054730

2026/02/02 発行

〒 276 - 0020

PAGE - ( 1 / 1 )

千葉県八千代市勝田台北1-11-16

VH勝田台ビル5F

株式会社 地域新聞

お客様コード：0000079030

TEL：047 - 485 -

FAX：047 - 486 - 0919

登録番号： T6040001020962

毎度ありがとうございます。

今回御請求額

35,783

		御取引額 (税抜)	消費税		
		32,530	3,253		
伝票日付	商品コード	数量	単位	単価	金額
伝票番号	商品名	規格			
2026/01/30	B-B4	7,565	部	4.3	32,530
040030091763	チラシ折込代 B4サイズ	印西ダイバーシティ活動レポートVol.5_2			
【税率毎計】	10%対象				32,530
				(	3,253)

<お振込先> お振込の際は下記の口座へお支払期日までにお願ひ致します。お振込手数料はお客様のご負担にてお願ひ致します。

口座名義人名：カチイシティアソシ

お支払期日： 2026年02月28日

180030181938



会派代表

加藤りょうじ (印西市議会議員)

# 印西ダイバーシティ

2025 夏号

## 活動レポート Vol.4



### 特集

## 市民の声を生かす交通再編へ ふれあいバス再編パブリックコメント結果 公表!

2025年2月から3月にかけて実施されたパブリックコメントでは、74名から116件の意見が寄せられました。中でも東ルートに関する意見が最も多く、新設された牧の原駅圏ルートの循環方法、西ルートの維持、助成制度の整備、乗り継ぎの利便性など、生活実感に即した視点から、多様な意見が示されました。

詳細はこちら  
印西市ホームページ  
ふれあいバスの再編について



### ✓ 今回の再編計画に反映された具体例

- 【平岡、小林方面から印西総合病院への乗り入れ】  
→ 「総合病院や駅へのアクセスが必要」等の意見を受けて設定
- 【中央公民館、浦部、小倉方面への運行の継続】  
→ 利用者の声を受けて一部路線の維持を決定
- 【牧の原駅圏循環ルートの周回方法見直し】  
→ 「遠回りになるのでは」等の声に応じた見直し

### ✓ 寄せられた意見・傾向

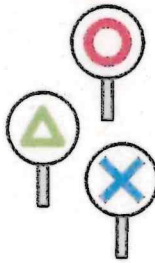
- ▶ 医療施設や駅への新ルート設置を望む声
- ▶ 廃止予定路線の継続運行を求める声
- ▶ タクシー助成やデマンド補完を求める声
- ▶ 通勤・通学時間帯の利便性を重視する声



### ✓ 市民の足をどう守る?

#### パブコメから見た”期待”と”不安”

- 【支持意見】 交通空白地の解消  
高齢者の移動手段として期待
- 【改善要望】 乗り継ぎの不便・遠回り  
高齢者や障がい者への配慮  
土日運行の継続
- 【反対意見】 廃止地域への代替不足  
直通性の低下  
実態との乖離感



通勤・通学・買い物など日常の足に支障が出るのでは、という懸念が大きく、今より不便になるとの声が特に目立ちました。

### ✓ 加藤りょうじの見解と提案

- 乗換導線の視認化と再編ダイヤの“体験型シミュレーション”を市民に「乗換ルートがどう変わるのか」を分かりやすく示すべき。また、特に高齢者や交通弱者の立場に立った“実証的な検証”が不可欠です。
- ダイヤ減便地域への「地域交通(デマンド・助成制度)補完策」を路線廃止や減便となる地域には、更なるタクシー助成や代替支援策を。いわゆる“交通難民”を生まない仕組みの構築が必要です。
- 検討プロセスへの市民参加制度の明確化を  
「コメントは出せるが、検討過程には入れない」では不十分。今後は住民代表や地域団体の声も反映される制度的な仕組みも構築すべきです。

再編の趣旨については一定の理解はしていますが、“誰ひとり取り残さない”公共交通を実現するためには、制度と現場感覚とのすり合わせが不可欠です。意見を「聞くだけ」で終わらせるのではなく、それが「反映された」と実感できる仕組みこそが、市民との信頼関係を築く鍵となります。

実際、今回の再編案には、牧の原駅へのアクセスルートの新設や、中央公民館前・浦部バス停の存続、8の字循環方式の採用など、市民の声を反映した見直しが随所に盛り込まれました。こうした事例は、市民参加の力を示すものであり、今後の制度づくりにおいても大きな指針となるはずです。

さらに、今回のパブリックコメントで得られた貴重な意見は、令和8年度から始まる印西市総合交通計画(5か年計画)において、極めて有意義な基礎資料となるはず。この計画は、今後5年間の交通政策の方向性を定めるものであり、一度策定されれば簡単には見直せない重要なものです。

一方で、デマンド交通や自動運転など技術革新のスピード、また市民の生活様式の変化は著しいものがあります。だからこそ、変化に柔軟に対応できる将来性ある計画と、スピード感を持った実行力が求められます。

私自身も、市民の皆さんと共に制度の改善を模索し、より良い制度となるよう、引き続き提案と働きかけを行ってまいります。

## 印西ダイバーシティ主催 市政報告 & まちづくり相談会



印西市議会中継より

参加費無料(要予約)

日時: 8月3日(日) 15:00~17:00 (受付開始 14:30)

場所: ふれあい文化館 3F 研修室1

ご予約は、ホームページまたは

070-8538-8404(加藤りょうじ事務所)にて受付中!



加藤りょうじ.com  
公式ホームページはこちら



加藤りょうじ日々のつぶやき  
X (Twitter) はこちら



是非フォローをよろしくお願いいたします!

## トピック1 都市計画税 — そのしくみや負担、使い道はどうなっている?

「都市計画税って何?」「何に使われているの?」そんな声が多くあるこの税金について、その仕組みや負担、使われ方について「課税の実態」と「使途の見える化」を目指して、次のような点を質問しました。

### ▶ 課税対象(支払う人)が増え、納税額も増加

令和元年からの5年間で、都市計画税の収入は約3億円も増加しました。納税義務者あたりの平均納税額も、年額5万3千円から5万8千円に増加。課税されていない地域との不公平さを感じるという声があります。

### ▶ 使途と積立金の透明性

税収が増える一方で、具体的な使い道がよく分からないまま、都市計画事業基金への積立金が急増しています。市は下水道、松山下公園施設の長寿命化対策事業などへの充当を挙げましたが、それが都市計画税でまかなうべきものかどうか、納得しにくいとの指摘もあります。もっと分かりやすい説明と情報公開が求められます。

### ▶ 減税を含めた制度の見直しを提案

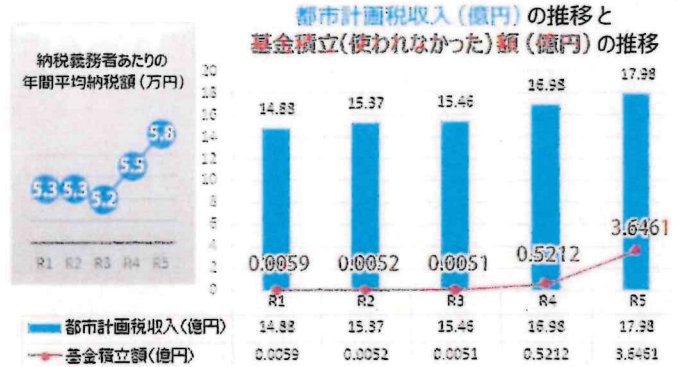
印西市の税率は、自治体が任意で決定出来る最高税率である0.3%。市街化区域内の土地及び家屋の所有者を対象としています。今の最高税率は妥当なのか?将来の都市像に即した使い道になっているのか?市長の政治的判断と決断のもと、減税も視野に入れ、見直す必要があることを強く訴えました。

### 【印西市の税額算定方法】

$$\text{土地・家屋の評価額} \times \text{税率}(0.3\%) = \text{税額}$$

↑  
(地方税法上の税率上限は0.3% ※市町村の条例による)

参考: 成田市 税率 0.05% (積極的な減税政策で住民負担軽減を実現)  
浦安市 非課税 (高税率を背景に都市計画税ゼロを維持)



## トピック2 市民とデータセンターとの共生をどう築くか

### < 千葉ニュータウン中央駅北側のデータセンター建設計画について >

市民のみなさんから寄せられた疑問や不安に応え、以下の観点から市に質問しました。

### ▶ 市街地における用途選定の妥当性

千葉ニュータウン中央駅周辺は「にぎわいや交流を生み出す場所」として整備すべきエリアです。そこへ閉鎖的なデータセンターが建つことが、まちづくりの理念と整合するのか。私は、駅周辺の土地利用について、市独自の土地利用方針とルールづくりの必要性を強く訴えました。

### ▶ 住環境への影響と住民配慮

騒音・日照・景観など、周辺住民の生活に与える影響への懸念も無視できません。これについては、「開発業者任せ」ではなく、市が責任ある調整役として、積極的に関与すべきと求めました。➡その結果、市は「公平・公正な立場を原則とした上で、可能な限り協議・調整を行っていく」との答弁を行いました。これは、市が「公共の仲介者」としての責任を果たすことを約束した、非常に重要な姿勢表明です。

### ▶ 制度整備と市民参加

市はすでに、市民参加条例に基づく意見募集を開始しており、今後は「地区計画の見直し」や「立地ガイドラインの策定」なども視野に入れています。私はこれらが形だけの制度で終わらず、市民との丁寧な協議や対話を経た政策となるよう、今後も丁寧なチェックを継続してまいります。

まちの未来をつくるうえで、市民の声をどう反映させるかは非常に重要です。私は、市と市民、そして事業者がきちんと向き合い、信頼関係を築きながら、「共に暮らす」ことのできるまちづくりを目指して、これからも取り組んでまいります。



千葉ニュータウン中央駅北側のデータセンター建設予定地

## トピック3 データセンターにおける償却資産課税の透明性と公平性

現在、地方税収の多くを占めるのが「固定資産税」です。その中でも、データセンターが持つ設備などの「償却資産」は中身が見えにくく、税額の決定が企業の自己申告に頼らざるを得ない現状があります。そこで、以下の点について一般質問を行いました。

### ▶ 課税の実効性と体制強化を要請

今年度から新設された「償却資産係」体制を評価する一方で、AIによるデータ分析や民間調査のノウハウ活用も視野に入れるべきと訴えました。

### ▶ 市民が納得できる「公平な税のしくみ」を

市民の税負担とのバランスを保つためにも、データセンター企業に対する課税については、透明性・チェック体制の整備・市民への説明責任の強化が重要であると提言しました。

## 編集後記

交通再編やまちづくりの課題に取り組む中で、改めて感じたのは、「制度を決める側」と「実際に使う側」との視点のギャップです。ふれあいバスの再編では、寄せられた声により実際に路線の一部が見直され、使いやすいルートへと改善された事例も生まれました。また、駅前開発といった大きなテーマでも、市が事業者任せにせず、市民の立場に立って関与する姿勢を引き出したことは、大きな一歩だと感じています。私はこれからも、制度を「みんなで育てていく仕組み」として、市民の皆さまの声を大切にしながら、市政にしっかり届けてまいります。

引き続き、皆さまのご意見をお聞かせください。

▶ 一般質問の詳細は、QRコードよりご視聴いただけます。

印西市議会  
議会中継(録画)



印西市議会中継より

QRコードで  
スマホからも簡単に!





会派代表

加藤りょうじ (印西市議会議員)

# 印西ダイバーシティ

2026 冬号

## 活動レポート Vol.5

### 12月議会(令和7年第4回定例会) 市政報告レポート

物価高騰対策と補正予算のポイントをお伝えします

物価高騰対策事業詳細はこちら(印西市ホームページ)



#### 物価高騰対策事業(抜粋)

～物価高騰から市民の暮らしを守るために～

#### 生活者支援(食料品物価対策)

##### ▶ プレミアム付デジタル商品券事業

市民の食料品等の物価高騰に対する支援と、地域経済の活性化を目的として、**プレミアム率50%**(総額4億円分)を付与するデジタル商品券を発行。

【例】5,000円買くと7,500円使えるデジタル商品券  
【実施時期(予定)】令和8年3月上旬から申込開始



※画像はイメージです

##### ▶ 物価高騰対策高齢者支援事業

市内の65歳以上の市民を対象に、食料品等の物価高騰に対する支援を目的として、**1人あたり5,000円分のギフト券**を配付。

【実施時期(予定)】令和8年3月中旬から順次発送

#### 子育て支援

##### ▶ 物価高対応子育て応援手当給付事業

児童手当支給対象児童を養育する父母等を対象に、物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯の支援を目的として、**児童1人あたり20,000円**を給付。

【実施時期(予定)】年度内給付



##### ▶ ひとり親世帯への給付金給付事業

ひとり親子育て世帯を対象に、食料品等の物価高騰に対する支援を目的として、**児童扶養手当受給世帯児童1人あたり10,000円**を給付。

【実施時期(予定)】年度内給付

#### 加藤りょうじの所感(生活者支援について)

今回の生活者支援(食料品物価対策)については、国が予定する支援の方向性を踏まえながら、印西市として具体的な施策を整理し、できるだけ早く市民の皆さまに届けようとする市の対応は評価すべきものだと感じています。

物価高騰が長期化する中で、年度内に実施・給付の目的を示した点は、市民生活を支えるうえで重要な意味を持ちます。今回の施策には、国の財源を活用して実施される事業と、市独自の判断と財源により実施される支援策の双方が含まれています。特に、高齢者へのギフト券配付

については、印西市として生活者の実情を踏まえ、独自に踏み込んだ対応であると受け止めています。一方で、支援策を「本当に必要な人に届くもの」とするためには、今後も丁寧な検証が欠かせないと考えています。デジタル商品券については、デジタル機器の利用が難しい方や、商品券を購入すること自体が負担となる方への配慮が必要です。また、ギフト券や商品券が利用できる店舗に限られることで、身近な店舗では使えない、あるいは地域経済への波及が十分かどうかといった視点も欠かせません。支援策は「用意すること」ではなく、必要としている人に、使いやすい形で確実に届き、あわせて地域全体の活力につながっていくことが重要です。

今後も市民の皆さんの声に耳を傾けながら、誰一人取り残さない生活者支援となるよう、必要な提言を行っていきたくと考えています。

#### 令和7年度 一般会計補正予算(第4号)

##### ▶ 補正予算の規模

【補正額】6億1,363万5千円  
【一般会計総額】567億23万円

##### ▶ 市民生活に直結する主な内容

- ・障がい福祉給付費の増額
- ・学校給食費(物価高騰への対応)
- ・民間保育園の運営費・施設整備費
- ・人件費(人事院勧告等への対応)



#### 加藤りょうじの所感(一般会計補正予算について)

今回の一般会計補正予算(第4号)は、物価高騰や利用実績の増加といった社会状況の変化に対応し、福祉・子育て・教育など、市民生活を支える分野を中心に必要な経費を積み上げた補正であると受け止めています。障がい福祉、保育、学校給食といった分野では、実際の利用状況やコスト上昇を踏まえ、必要なサービスが滞らないよう現実的な対応が取られている点は評価できます。一方で、物価高騰や人件費の上昇は一過性ではなく、今後の行政運営に継続的な影響を与える課題です。補正による対応を重ねるだけでなく、中長期的な財政見通しの中でどう支え続けていくのが重要になります。今回の補正予算は、今必要な支出への対応であると同時に、将来の財政運営や行政の持続性を考える契機となる内容でもあります。

今後も議会の立場から注視し、必要な提言を行っていきたくと考えています。

### 印西ダイバーシティ主催 市政報告&まちづくり相談会



印西市議会中継より

参加費無料(要予約)

日時: 2月8日(日) 10:30~12:30 (受付開始 10:00)

場所: コスモスパレット パレット1 1F 講座室3  
(中央駅前地域交流館1号館)

ご予約は、ホームページ(加藤りょうじ.com)または  
070-8538-8404(加藤りょうじ事務所)にて受付中!



加藤りょうじ.com  
公式ホームページはこちら



加藤りょうじ日々のつぶやき  
X(旧twitter)はこちら



是非フォローをよろしくお願いいたします!

## トピック1 国勢調査における調査票未配布と市の対応体制について

国勢調査は、我が国の最も重要な統計調査の一つであり、自治体にとって人口政策や地域行政計画に直接影響を及ぼす大事な統計データです。2025年10月に実施された国勢調査では、一部の世帯において調査票が届かなかった事例が確認されました。国勢調査データの正確性や信頼性に疑義が生じかねない重大な事案です。私はこの問題について以下の点を中心に質問しました。

- ▶ 調査票未配布の状況把握とその報告体制の問題
- ▶ 調査員・指導員の確保や業務分担の在り方
- ▶ 調査結果が市の政策形成に与える影響への認識と対策
- ▶ 県に対して実施制度そのものの改善を求める姿勢の有無

以上の問題について、市の対応体制の検証とともに、制度上の限界にも着目し、次回(2030年)以降の調査に向けて、県を通じて国に対し制度の見直しを働きかけるよう市に求めました。

### 【市の答弁】

市からは「調査票が届かないことは市民の皆様への不安にもつながる。」との答弁があり、また、私からの意見具申に対し、市も次回実施(2030年予定)に向けて、「県に対しても制度や実施方法の改善が図られるよう、働きかけていく。」と前向きな姿勢を示しました。

加藤りよつじの所感

地域の実情を踏まえた運営体制の改善と、制度そのものの見直しは不可欠です。市が国や県に対してしっかりと現場の声を届ける責任を果たしてこそ、信頼に足る行政といえるのではないのでしょうか。

### 印西ダイバーシティ主催 市政報告&まちづくり相談会

日時：2月8日(日) 10:30~12:30

※詳細は表面をご覧ください。

## トピック2 補助金申請漏れと内部統制の抜本的再構築の必要性について

市の福祉部門において、「地域生活支援促進事業補助金」に関して、国・県補助金の申請に必要な協議書類が提出されておらず、結果として補助金を受けられないという深刻な事態が発生しました。しかしながら、この事業は市民生活に不可欠なものであるため、事業自体は中止できず、不足分は市の一般財源(市民の税金)によって全額賄われることとなりました。私はこの事態を重く受け止め、単なる事務ミスではなく、組織としての統制・管理体制の構造的な問題と捉え、次の点を質問しました。

- ▶ 重要な補助金をなぜ申請漏れしたのか、その責任の所在
- ▶ 庁内全体としての予算管理体制は機能していたのか
- ▶ 再発防止に向けた内部統制およびチェック体制の抜本的な改革の必要性

また、市長に対して、単なる事務ミスとして処理するのではなく、市政全体のガバナンスの問題として捉え、内部統制や庁内情報共有の抜本的な仕組みづくりを行うよう強く求めました。

### 【市の答弁】

市は、「該当の補助金を担当していた職員が、取りまとめている別の担当職員が対応しているものと誤認し、漏れが生じた。」と説明し、今後は申請業務のチェック体制を庁内で共有・明確化していくとの方針を示しました。また、市長からは、「本事案を市役所全体の課題として受け止め、チェック体制の強化を言葉だけで終わらせることなく、組織全体の抜本的見直し・再発防止に向けた仕組みの構築を、私が責任をもって進めていく。」との答弁がありました。

加藤りよつじの所感

市役所における不祥事案・事件が多発しており、後を絶たない現状を大変危惧しているところです。そのうえで、今回の補助金が不交付になってしまったという結果は、単に財源を失ったというだけでなく、市民からの信頼を大きく失ってしまった、という重大な問題であると捉えています。この事案を教訓として、庁内全体で統制を効かせる内部管理の仕組みを、一から見直すことが重要だと考えています。また、組織のリーダー(市長)は、市民に対して説明責任を果たし、信頼回復に努める必要があります。

## トピック3 データセンター建設と市の果たすべき責任と制度活用の在り方について

千葉ニュータウン中央駅前の一等地におけるデータセンター建設計画をめぐり、私は、市が都市計画的視点や公共性の観点から果たすべき役割を十分に果たしてきたのか、という疑問を抱き、市が土地利用誘導やまちづくり方針をどのように示してきたかを次のような観点から質問しました。

- ▶ 公有地の取得調整を定めた「公法第4条」に基づく対応
- ▶ 土地の大規模取引時に事業者に対し、自治体が意見聴取や勧告が行える「国土法第23条」への対応
- ▶ 将来の市民利用や公共施設との比較検討、都市計画、環境面での検討がなされたか

### 【市の答弁】

市は、「報道等により情報を得た段階で既に開発計画が進んでいた。」とし、制度上の適用除外の可能性にも言及がありました。しかし、私はこの答弁に対し、市として十分に制度を活用し得る機会があったのではないかと疑問を呈し、対応の甘さを指摘しました。



印西市議会中継より

スマホからも簡単に!



印西市議会  
議会中継(録画)

## 編集後記

12月議会では、いずれの質問も「制度や仕組みの正しい履行の不備」が招いた問題に重点を置きました。市民に見えにくい事務上のミスや判断が、結果として市民生活に大きな影響を及ぼしている現実が浮き彫りになりました。市政運営においては、目の前の事務をこなすだけでなく、将来を見据えた制度設計と、継続的な検証・見直しが不可欠です。

今後も、「見逃されやすい声」に丁寧に耳を傾けるとともに、市政運営の状況を注視し、行動につなげてまいります。

◀ 一般質問の詳細は、QRコードよりご視聴いただけます。